

料金後納  
郵便

ゆうメール

# やまもり通信

NO. 246 2023.11 NPO法人恵那山みどりの会



雑木林窯の建屋の裏にある枯松の巨木の枝落とし作業をしました。

倒木すると建屋に大きなダメージが想定されるため、事前に処置をすることになったものです。

この松は雑木林の歴史とともに成長したと思うと少し罪深いかなともおもいますが……

慎重に作業するため3日ほどかかりそうです。

木の伐採体験会フォローアップ講座 11/19(日) 於:福岡

市民門松づくり 12/23(土) 於:本町公園

ホームページ

恵那山みどりの会

検索



今年の秋は突然やってきて、また隠れては現れる摩訶不思議な「秋」ですね。ある人が爽やかな秋という感覚が持てないと言っていました。

日本の季節はグラデーションのように季節がうつろい、いつの間にか季節が変わり、古今の風流人がこの「うつろい」を多くの歌にしていますね。それが日本の色彩感であり、日本人の感性と言語を特徴的なものにしていきます。「森林文明」と「砂漠文明」のちがいともいえます。この文化が今や過去のものとなるのではないかと危惧しているのは私だけではありません。

地球的な気候変動は否応もなく日本でもその影響を受けています。世界では大規模な変化を徐々に受けています。風水害、氷河の溶解、海水温の上昇など枚挙の暇が

ありません。ここでは私たちの活動に関係のある森林についてみてみましょう。

この夏、北米、スペイン、イタリア、ポルトガル、ギリシャ、ハワイ冬のアルゼンチンなどで大規模な森林火災が発生し、住宅地までその勢いが迫り、大きな被害をもたらしました。その規模はメガファアからギガファアに変化しているといえます。それは急速に広がる気候変動によるといえます。カリフォルニアでは2020年に49.4℃といを記録し、熱波で水分が蒸発し、乾いた草木がその燃料となって被害を拡大していきます。結果、同年カリフォルニアでは焼失面積が東京都8つ分を焼失したといえます。

山火事の原因が失火というだけでなく、多くは自然発火による火災だといえます。だからいつどこで発生するかは分かりません。予測システムを開発し、消防隊の増強など対策していますが、その規

模を上回る勢いで発生しています。カリフォルニアでは燃えやすい木が多いのも原因がありそうです。

特に同時多発の危険があり、加えて、異常気象で雷が多発し、落雷の嵐が地上を襲います。通常なら落雷と同時に雨が降るのでが極度に乾燥した大気が雨を蒸発させて地上に雨が届かず、落雷による火災が広域に同時発生することになります。

日本は地理学的に温帯モンスーン地域にあり、カリフォルニアの様にはすぐにはなるとは思えませんが、地球レベルでこのような火災が発生している現状では大量の温室効果ガスが発生し、いつか日本も同様な被害が発生するとも限りません。カリフォルニアでの火災は世界に警鐘を鳴らしています。日本ではこう言った危機になる前に森林を適切に管理する必要がありますが、逆に不足していく木材需要を逆手にとって対処していく必要があります。

森びくろだより

早川宏之

千旦林 庭木伐倒

九月五日（火）、六日（水） 二名

造園業の方からの依頼で庭木の伐採作業である。

かなり広い敷地の玄関脇から裏手へと続く庭に植わっている、少し伸びたチャボヒバ（ヒノキの園芸品種）二本と松二本、住宅の側方にある小さな社を囲むよう植えられた二十cmほどの檜の木五本と数cmの檜の木数本、それと庭の端となる土手の法肩にある十六cm程の紅葉一本である。

まず依頼者の要望でチャボヒバと松の伐採から掛かる。枝払い玉切り後依頼者の軽トラで、自ら土場へと搬出する。

その後我々は檜の木の伐採にかかるが、奥の檜の木の立ち上がっている枝の中を、この家への引き込み線が通過しており、樹上にての枝の切落として作業を行った。

この日も蒸し暑い日であり、しっかりと汗をかきながら檜の木の伐倒をしていたら、にわか雨に降られ汗で濡れたのか雨によるものかわからない状況となった。

午後、伐倒した檜の木の集積作業を行い一日目の作業を終了した。

翌日、天気が危ぶまれたが朝のうちは降られることなく、社周囲の檜の木の伐採から作業にかかり、次に土手の法肩の紅葉の伐採にかかった。

根元から五十cm程で株別れし、土手下に向いて数本出ているため、細い枝は樹上にて手鋸で切、庭に落としていった。

十cm程のものはロープを取付、庭先で引いてもらい伐採した。この日も紅葉の伐倒、片付け時に予報通り雨に降られ、昨日同様汗によるものかわからない濡れた状況となった。

最後に根元から切り無事作業を終了した。

中津川 庭木枝払い

十月二日（月） 五名

正木事務局長のお知合いの方からの依頼で、庭木の枝払い作業である。

十六cm程のブナ二本とハンノキ一本である。バラ等低木が手入れされている庭で枝を切り落すわけにはいかず、すべて吊切りとした。

枝は腕の太さぐらいで株別れしており、足場の確保に苦労したが、何とか作業姿勢を確保し、ロープを取付、二〜三本ずつ手のこで切り下ろした。

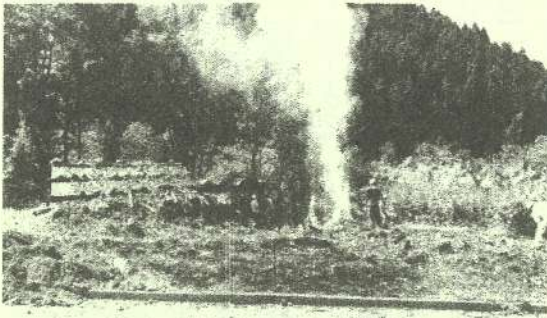
小型のチェンソーを用意していったが、枝が込み入っていたため手のこでの作業となった。

午前一本、午後から二本の枝払い作業を終え、切り下ろした枝を搬出して作業を終えた。

搬出量は軽トラ二杯と見込みより少なかった。

思い出の「神坂窯」

恵那山みどりの会を創立し、作業と活動の拠点となる場所を求めていたとき、神坂の森林組合から、「長く使っていない窯がある。その窯を生かして使ってくれ」という話があり、喜んで借用したのが今の神坂窯の出発だった。(二〇一六年総会資料)



屋根の朽ちかけた炭窯が見える。草刈り・整地作業で神坂窯のスタート  
(2001年9月23日)



炭材作り、竹炭の準備。軽トラが何台も停車し多くの人に参加。  
(2002年9月23日)



柱の準備。皆さん自分の役割を良く知り作業が進む。  
(2001年10月28日)



五平餅・サンマの塩焼きと豪華な昼食。特別な日だろうか。缶ビールが並びおらかな時代。  
(2003年11月9日)



炭だし。良い炭が出来たようで皆さんの笑顔が印象的。女性の方も多く参加しています。  
(2003年3月23日)

《投稿》

なぜ高い中津川の物価(ガソリン等)

柴田弘明

私は時に実家である豊田市へ帰ることがあります。その度に19号線沿いにあるガソリンスタンドの看板に大きく表示されている販売価格に目が留まる。不思議なことに中津川市から南下するのにつれて安くなっていくのに気が付いた。8月の中旬に葬儀がありトヨタに向かった時の事、この頃は円安が進行し、ウクライナ戦争や気候の異変などもあり諸物価がウナギ昇りに上がる最中で、ガソリン価格も毎月、毎週変動している時期でした。

19号線に出て最初のスタンドがインター入り口から少し先のウエストポイント店で192円の表示があり、坂本まで行くと188円や185円の表示が目に入った。釜戸では更に安く182円と18

0円もある。瑞浪から小里経由で豊田に入るが目に留まらず県境越して豊田へ。合併前は小原村と藤岡村内になるが表示はなく、市街地へ近づくと176円とか174円が主になっていた。

同じ頃、飛騨方面の下呂へ行った際には180円前後の店が多く、東濃より安い販売である。このように豊田と比べると10円から15円の差があり、下呂では5〜7円程度安く売られている。

おそらく中津川は業界内で統一価格を決め、店のサービスによって5、6円の差をつけているのだろうと察しています。この方法では郊外へ出かける客が市内の店を使わずに旅先で購入することになり結果的には中津川のスタンド利用者の減少に繋がりがかねません。今回たまたまガソリンスタンドの表示をみて、価格に大きな差があることを知りましたが他の品物では果たしてどうなのだろうかと思ふところではあります。聞くところでは

は、恵那市のほうが安くて雰囲気が良いなどの理由で恵那まで出向く人も多いようだ。

一方、長野県の村の中には村内の財政悪化を防ぐ目的で公共事業をはじめ、日用品でも村内の店を利用するなど工夫しているところもあるという。住民にとって一長一短はあるだろうが通り客目当ての商売ではほかの地域の店に客が逃げていると想定されるが多くの市民はどう感じているのだろうか。

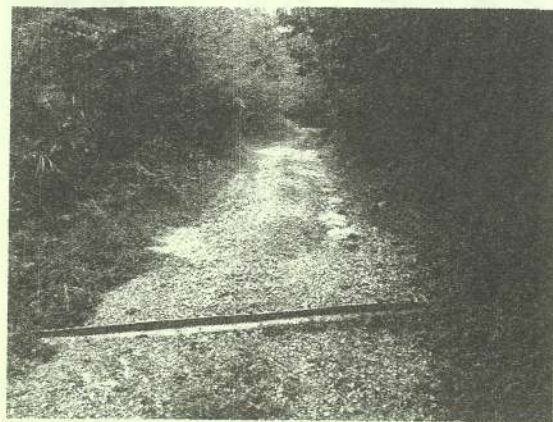


# 《ヤマガキ隊の活動》

隊員 秋江文雄

なすの森に行くには、上り坂の、未舗装の砂利道を通らなければならぬ。距離はおおよそ六百メートルほどです。

当然、参加する全ての会員が車を利用のため轍ができ、雨が降れば道路？が川となり表面が削られ、デコボコの道路状況となるのでまともに走ることが不可能となります。



そこで私たちの年行事化となった作業が道路補修です。

轍を埋めるため、昨年は市配布の廃コンクリートを受領し、全くの人力のみで、それを撒き散し固め、今年はストックしていたそれで土嚢を作り轍に埋めました。

雨水対策は、従前より雨水を道路脇に逃がすため、道路に斜めの溝を幾本か掘ったり、間伐材をその溝に埋めて止水材としていました。

今年度は、隊長の提案により、その間伐材の中央部に、何かのゴム系？の廃材を、一列に埋め込み、ゴムは一定間隔で切り込みを入れ、車の通行時にゴムにかかる圧力を逃がし破損を最小限に抑える工夫がしてあります。

なすの森の道は、気持ち良く走りたくてアクセルを踏み込みがちですが、天井に頭を打ち付ける等の状況がままあります。

特に止水版を乗り越えるときは、ゆっくりと、走行していただきました。

いと思います。

ご寄付ありがとうございます

やまもり通信245号で掲載出来なかった方をお知らせします。

(敬称略)

小栗澄子(瀬戸)磯村由美(えびす町)田口秀司(柳町)田口進(中津川)野浪義徳(春日井市)原孝子(茄子川)近藤睦美(名古屋市)磯貝啓子(昭和町)堀越正己(中津川)小林あき代(千旦林)伊藤晴美(知多市)伊藤久仁洋(知多市)鷹見信義(手賀野)山田則夫(落合)市川文子(茄子川)

いつもご寄付にご協力いただき厚く御礼申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。

## 2023年 11月・活動/打合せ予定

日	曜日	時間	活動内容	会場	対象	備考
5日	日	13:30	役員会	事務所	担当・役員	
12日	日	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
14日	火	9:00	定例作業日	雑木林窯	会員・一般	
19日	日	9:00	木の伐採体験会フォローアップ講座	福岡・桧植林地	会員・一般	
20日	月	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
26日	日	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
28日	火	9:00	定例作業日	雑木林窯	会員・一般	
29日	水	13:30	企画会議	事務所	担当・役員	

## 12月 イベントと森の学校の予告

	行事内容	会場	備考
23日(土)	市民門松づくり	本町公園	

編集部連絡:原稿締切は毎月20日です。  
 また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。  
 森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連あるご意見などをお寄せください。  
 関係の深い記事など通信に記載します。  
 イラストなどもお寄せください。

発行責任者:NPO法人恵那山みどりの会  
 理事長 河内 龍二  
 事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13  
 (TEL・FAX 0573-65-1366)  
 13:00~16:00(水・土・日・祭日休み)  
 メールアドレス:midorinokai@wine.ocn.ne.jp

## 2023年 12月・活動/打合せ予定

日	曜日	時間	活動内容	会場	対象	備考
3日	日	13:30	役員会	事務所	担当・役員	
10日	日	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
12日	火	9:00	定例作業日	雑木林窯	会員・一般	
18日	月	9:00	ヤマガキ隊	なすの森	会員・一般	
20日	水	13:30	通信発行	事務所	役員	
23日	土	10:00	市民門松づくり	本町公園	会員・一般	
23日	土	10:00	どんど準備	中津川河川敷	役員	
23日	土	10:00	事務所清掃・懇親会	事務所	役員	会員の参加歓迎

## 1月 イベントと森の学校の予告

	行事内容	会場	備考
6日(土)	どんど	中津川河川敷	
11日(木)	事務所開き		
日			

編集部連絡:原稿締切は毎月20日です。  
 また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。  
 森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連ある  
 ご意見などをお寄せください。  
 関係の深い記事など通信に記載します。  
 イラストなどもお寄せください。

発行責任者:NPO法人恵那山みどりの会  
 理事長 河内 龍二  
 事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13  
 (TEL・FAX 0573-65-1366)  
 13:00~16:00(水・土・日・祭日休み)  
 メールアドレス:midorinokai@wine.ocn.ne.jp